



能勢分校
留学生紹介!!

能勢分校HP: [能勢分校](#)

能勢分校

検索



ベトナムから留学生が来ています!

ベトナム・ハノイから、リン (Linh PhuongKhanh Nguyen=リン フォンカイン ゲン=) さんが7月4日~令和5年3月までの長期留学生として来ています。ホストファミリーは能勢町の分校卒業生のお宅です。来日してすぐに夏休みになりますが、充実した分校生活を送ってほしいと思います。皆さんも彼女を見かけたときには、声をかけてあげてくださいね。

「私の名前はカイン・リンです。ベトナムの学校では読書クラブと日本文化クラブに所属しています。趣味は読書、音楽を聴くこと、他国の文化を学ぶことです。将来はベトナムや日本文化を世界に広げ、グローバルに働きたいと思います」



アブリルさん(左)とリンさん(右)

アブリルさん、さようなら!



スペインのバルセロナから短期留学生として5月末から能勢分校で学んでいたアブリルさんが、7月末に帰国します。

能勢分校では日本語を学びながら2年生のクラスに入り、授業に参加しました。1, 2年生に向けてスペインについてのプレゼンテーションを行ったり、放課後にはバスケットボール部、弓道部や茶道部の活動に積極的に参加するなどしていました。里山留学プログラムでは、田植えも初体験しました。また、ささゆり学園3~6年生の英語活動に参加し、9年生の授業の後は、放課後にバスケットボール部とバレーボール部との交流も楽しみました。東能勢小学校の授業にも参加しました。

学校生活以外でも、京都や奈良で寺社巡りをしたり、クラスメイトと海へ遊びに行ったり、ホストファミリーには念願の祇園祭に浴衣を着て連れて行ってもらったり、たくさんの思い出を作ることができました。2カ月という短い間でしたが、充実した留学生活となりました。



分校2年生と



ささゆり学園5年生と

アブリルさんからのメッセージ

ここで楽しい時間を過ごせたなら、ありがとうございます能勢の人々はとても親切で、私は家にいるように感じました。私は将来戻ってくることを願っています。新しい場所を知るのとはとても楽しかったし、言方れたすべての学校で素晴らしい時間を過ごしました。この経験をありがとうございました。



ささゆり学園9年生と



弓道部



ささゆり学園バスケットボール部に参加

大城小春さん、イタリア留学体験記～



Theイタリア飯！



大城小春さんは、令和3年9月からこの7月中旬まで約1年間イタリアのモンツァへ留学しました。この9月から分校2年生のクラスに戻ってきます。帰国直前の小春さんからメッセージです

留学初期、イタリアは秋から冬に向かう頃でした。はじめは全く分からなかったイタリア語も、周りの助けのおかげで聞いたり話したりできるようになりました。学校の他に、地域のアスレチッククラブに所属したり、休日は教会へ行ったりして、異文化体験を広げていきました。

年末はクリスマスが素晴らしかったです。モンツァはカトリック教徒が多く、キリストの文化が色濃く残る街でした。年が明け、1月早々にLivignoというイタリア最北端の街に行きました。マイナス20度の中でのスキーやスケートは楽しかったです。また、何よりそこから見えるアルプス山脈は言葉にできないくらいきれいでした。4月はイースターです。キリスト教徒が多いイタリアではイースターはクリスマスと同じくらいとても重要な行事です。イースター休暇はイタリアの首都、ローマに行きました。多くの世界遺産と歴史が残る街並みに触れ、とても良い経験ができました。イースター休暇が終わると、学校では最後の学期が始まりました。

7月には日本に帰ります。とても素敵なホストファミリーとのお別れがもうすぐだと思うと、今からとても寂しい気持ちになりました。



雄大な自然と歴史的建造物



E-bike プロジェクト(国際交通安全学会) ～中山間部エリアの高校通学における交通課題の解決と教育的効果の測定～



令和3年
10台



令和4年
24台に！

令和3年度にスタートした“E-bike”プロジェクトは、生徒たちの実際の通学の様子をデータやカメラで確認し、危険箇所や危険運転についてフィードバックを行っています。高校生の実証実験を国際交通安全学会などがデータを分析し、高校生と情報を共有する試みは各方面より注目を集めています。

5月に行った今年度最初の講座では、このプロジェクトのメンバーである東京大学教授 北村友人先生を中心に、大阪公立大学 吉田長裕先生、大阪大学 葉健人先生をお招きしました。E-bikeプロジェクト参加生徒のほか、能勢町行政職員や多くの大学の先生の参加があり、このプロジェクトの注目度に驚きました。

6月28日(火)には、2年生が1年生にE-bikeについて交通安全講習を行い、7月12日(火)には「ホンダ鈴鹿」による交通安全講習会を受け、14日(火)に交通インフラについてのワークショップを行いました。そして8月31日(水)には能勢分校生と地域住民と共に交通安全行動についてのワークショップを開催します。また、8月29日(月)に「(株)能勢・豊能まちづくり」のご協力のもと、分校内に太陽光パネルを設置し、E-bikeの電力を太陽光でまかなっていく計画を立てています。



計測器



E-bike(電動アシスト付き自転車)



ヘルメット

令和4年度 能勢分校×能勢町公開講座を開催しました

➤ 第1回 7月1日(金) 3年GS課題探究講座

講師：神出 計氏【大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授(医学博士)】

テーマ 「健康で安心して暮らしていける地域づくり」



能勢の高校を応援する会 西田会長と神出先生。能勢分校玄関にて

3年生公開講座に参加されて町の方から、「いきいき100歳体操の意義が初めて分かった。能勢町が少子高齢化の町であることは知っていたが、これほど高齢化が進んでいるとは知らなかった。この町の取組みが今後日本全体の取組みになる。知っている知らないでは取り組む気持ちが全く違う。高齢者みんなに知ってほしい」と感想を述べられました。みんなが健康であることは、社会生活を守ることにつながることを実感した時間となりました。

里山留学プログラム

里山留学プログラムも2年目を迎えました。令和4年度は能勢町地域おこし協力隊の平原さんと一緒に、活動を進めています。

第1回の活動では5月1日(日)に里山保全植樹体験を実施。1年生2人が参加しました。道のない山の斜面を果敢に上り下りし、苗木を植えて鹿よけネットを張りました。一般からは幼児の参加もあり、その幼児のサポートにも頑張っていました。



第2回は6月18日(土)に、秋鹿酒造の酒米の田植えを行いました。稲のポット苗を軽トラックに積み込み水田へ運び、GPS付き田植え機に乗り、苗をどんどん植えていきました。最後に秋鹿酒造の無農薬にこだわった米作りについてのお話を、秋鹿の奥航太郎さんに聞きました。

今後も地黄湿地や銀寄栗、米の刈取りなど能勢の里山で様々な体験を重ね、学びを深めていきます。



1日体験学習会を行いました

7月2日(土)能勢分校にて、1日体験学習会を行いました。この体験学習会は大阪府内の中学生全学年を対象に、実際に行われている能勢分校ならではの特色ある魅力的な授業を開講しています。当日は、8名の中学生が「探究コース」の授業を体験したあとに、希望したクラブ活動に参加しました。

今後の体験会は下記の日程で予定しています。詳細は、能勢分校のHP(学校説明会・体験入学会・1日体験学習会)から参加申し込みをしてください。

○8月27日(土)：農業授業体験会、里山留学説明会

○10月22日(土)：体験学習会(「里山起業コース」授業+クラブ活動)

○12月10日(土)：体験学習会(「対人支援コース授業」+クラブ活動)



令和4年度 GS課題探究講座

3年生全員が取り組んでいる「課題探究GS」のテーマ発表会を、6月3日（金）に行いました。今年度は7チームに分かれ、関心がある能勢町の課題について考え、それぞれのテーマを決めました。

平生は各チームの発表に対して、生徒が付箋に感想や意見を書き模造紙に貼るワークショップを行います。今回は生徒が1人1台持っているタブレット端末を活用しました。「Google Jamboard」というアプリケーションを使い、リアルタイムで前方のスクリーン上で貼りだした意見を共有し、発表者も聴衆も一緒に楽しむことができました。

9月14日(水)に中間発表会を行います。各チームが約3か月でどこまで探究を深められるのか期待が膨らみます。



オンラインでジャムボードに意見を貼り付け

米の生育調査にドローンを活用

課題探究GSに取り組む3年生が、『JA共済の地域貢献活動』でJA共済連大阪から贈呈されたドローン（無人航空機）を使い、生育調査飛行を行いました。（能勢分校の農場は、大阪でも希少なドローンの飛行可能区域です。）

ドローン飛行に際しては、(株)ふるさと創生研究開発機構の大石氏・中植氏に来校頂き、法規・マルチスペクトラムカメラ・プログラムによる自動飛行などをご教授頂きました。

その後、実際に紫黒米栽培圃場を飛行、空撮までの一連の飛行訓練を実施しました。生徒たちは初めて触るドローンにも臆することなく、楽しんで目視飛行を行っていました。今後も継続的にドローンによる生育調査を実施し、考察を深めていきます！



第4回 先輩からのエールが届いています！

能勢分校卒業生（1期生） 田村 颯馬さん
京都先端科学大学 バイオ環境学部 2年生



今では将来への目標をもって大学に通っている私ですが、高校入学当初は、特に明確な目標もない高校生でした。

ただ一つ周りと変わっている所を挙げるとすれば、農業が好きだった事でしょう。ただ漠然と能勢で農業をしたいと考えており、一年生の時から「農業に興味がある」という事を友達や先生に話していました。こうしたこともあり、能勢分校では農業クラブ活動やファームステイなど様々な経験をすることができました。

このことから私が皆さんに伝えたいことは、やりたい事を声に出し常に動き回ってみてください、ということです。残念なことにチャンスは皆平等にやって来るとは限りません、何度もチャンスがやって来る人もいれば一度しかやらない人もいます。だからこそ、チャンスを捕まえる為に、少しでも興味があることについて声に出し、動き回り、チャンスがやってくる機会を増やしてみてください。そうすればきっと皆さんにとっての素晴らしい出会いがあることでしょう。

最後になりますが高校での三年間は、様々な出来事があります。そこで学び、体験したものはとても大きな財産になるので、思いっきり楽しんで下さい。



分校3年生時の田村さん

能勢分校は様々な地域課題を地域の皆様とともに考えていきます。能勢分校で開催する公開講座、ワークショップなどお気軽にご参加ください。